

2024年度 事業計画書

2024年2月1日から2025年1月31日まで

支部名： 関西支部

支部長名： 赤井周司

1 概要

1.) 支部の活動方針

関西支部は、日本薬学会の基本原則である「薬学に関する学術の進歩および普及をはかり、薬学関係者・会員の研究成果の発表 および研修をする機会を提供し、もって学術文化の発展に寄与する」ことを目的として、支部大会、若手セミナー、特別講演会を中心とした会員相互の情報交換を行うとともに、薬剤師や一般市民を含む社会に対する情報発信を行っている。毎年秋に支部大会を開催し、若手研究者の育成を図るとともに、大学院生はもとより6年制の学部学生による積極的な発表を促している。本支部では、支部大会をはじめとした集会在学術の発展や会員相互の情報交換に最も重要な機会であるので、今後も新たな取り組みを加えながら支部大会などを活性化していきたいと考えている。また薬剤師や一般市民向けの講演会開催も展開しており、薬学に対する社会からの理解を一層深める情報提供を続けていきたい。

2.) 継続的活動

- ① 関西支部大会での若手研究者への奨励賞の授与および大学院・学部学生への優秀発表賞の授与
意義：支部大会への参加と発表を促進することで若手研究者を育成し、大学院・学部学生の研究意欲を向上させる。
- ② 関西支部大会参加者への薬剤師研修センターの研修単位授与
意義：病院・薬局薬剤師の研究および生涯学習を支援し、支部大会への薬剤師の参加を有意義なものとする。
- ③ 「市民公開講座」は、薬剤師のみならず一般市民を対象に健康と薬に関する最新の情報を提供し、本会の”社会に対する意義と公益性”を向上させる。一方、新春特別公演会は、会員への最新情報提供と交流を主な目的に、関西支部特別講演として、継続する。
- ④ 「有機合成若手セミナー」の開催と優秀発表者の表彰
意義：有機合成化学協会関西支部と合同で実施することで、他分野の化学研究者や学生と交流する機会を作り、化学を指向する若手研究者を育成する。
- ⑤ 関西薬学シンポジウムの開催
意義：関西支部に所属する薬学系若手教員に「招待講演」の場を提供するとともに相互交流による若手教員や学生の研究意欲の向上を図る。
- ⑥ 支部所属の大学等で行われる外国人特別講演会の支援も特別講演としての位置付けで継続する。
意義：著名な外国人研究者の特別講演主催や支部会員が行う学術集会等の共催あるいは協賛による支援によって広く会員に情報を発信する。会員間に国内外の情報を広く提供し、会員の学術レベルを向上させる。
- ⑦ 在宅医療推進教育プログラム（略称：HOPE）の実施と認定証の授与
意義：関西支部主催によって支部14大学と薬局が連携して行う実務実習事前教育として位置づける。学生が在宅医療の現場で学ぶことで、地域医療の中核を担う薬剤師となれる学生を育成に寄与するとともに、発表の機会を与え薬学会への志向性と薬学研究者の芽を育む。関西支部として実施することにより、「在宅医療に関する導入教育」の指針を広く会員間に発信する。
- ⑧ 幹事会、世話幹事会、総会の改革
意義：パンデミックが終息した場合も、部分的なオンライン化を視野に入れ（2021年度以降、既に試行）、パンデミック下、パンデミック後の支部の効率的な運営そして在り方について改革する。

3.) 新規活動

- ① 支部会員数の増加の方策について、引き続き支部幹事会で協議する。
- ② 関西地区で開催される薬学会年会と支部大会の効率的運営について引き続き協議する。
- ③ webや電子メールの弾力的活用による各種会議の一層の効率化を試み、その有用性に関して検証する。

4.) 特筆すべき計画

- ① 他学会と共同して「有機合成若手セミナー」を開催している。本事業により支部若手教員の発表の機会を増やすとともに、理工農学研究科に所属する多様な教員・大学院生と対話する機会を創出し、人的交流ならびに研究視野の拡大を図っている。
- ② HOPEプログラムを通して、実務実習前の学生（主に4年生）を対象に「在宅医療」を体験する機会を提供する。学生は体験を通して学び考察した内容を支部大会において発表する。あわせてシンポジウムを開催し、在宅医療を推進するための教育課題について議論し対応策の提示を目指す。修了者には認定証を授与し、薬学会への志向性と薬学研究者の芽を育む。

5) ダイバーシティ（あるいはDE&I）に関する活動

6) 会員数増加についての取り組み

薬学部6年制の学生を対象としたHOPEプログラムに参加した学生には、今年度から修了証を発行することにより、薬学会への興味の醸成と臨床的な研究発表に積極的に関わる姿勢の育成を目指している。今後とも、薬学部の学生がメリットを実感できるような具体的な関わりを模索し、展開していきたい。

2024年度支部長

赤井周司

大阪大学大学院薬学研究科

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-6

TEL:06-6877-5111

E-mail:akai@phs.osaka-u.ac.jp

2 支部活動の具体的計画

1. 支部総会等の開催

名称	日時	場所	参加者数	特記事項
第74回支部総会	2024年10月5日	武庫川女子大学		
第74回支部大会	2024年10月5日	武庫川女子大学		

2 事業（オープンキャンパスは支部事業として認められませんので記載の必要はございません。）

名称	日時	場所	参加者数	特記事項
関西薬学シンポジウム：化学系の若い力	未定	未定		主催
有機合成若手セミナー	2024年8月1日	大阪公立大学		共同主催
市民公開講座	未定	未定		主催
薬学会関西支部主催特別講演	2024年10月5日	武庫川女子大学		主催
外国人特別講演会	随時開催予定	各大学		主催
HOPEプログラム	2024年3月～9月	関西地域の薬局	各大学から数名ずつ	主催
在宅医療推進教育総会	予定（2025年2月）	オンライン		主催

3. 奨励表彰(名称)

名称	受賞件数	対象研究	副賞
関西支部奨励賞	例年通りの予定		3万円
関西支部大会 ポスター賞	例年通りの予定		クオカード1,000円
HOPE 優秀発表賞	2件程度を予定		クオカード1,000円
有機合成若手セミナー 優秀研究発表賞	例年通りの予定		図書カード5,000円

4. 会議等の開催

名称	日時	場所	特記事項
支部幹事会（第1回）	2024年3月15日	からすま京都ホテル	新型コロナウイルス感染症の状況によってはメール、Zoom等で開催
支部世話幹事会（第1回）	2024年6月		メール開催
支部委員会（第1回）	2024年6月14日	ホテルモントレ大阪	新型コロナウイルス感染症の状況によっては開催しない
支部世話幹事会（第2回）	2024年9月		メール開催
支部幹事会（第2回）	2024年9月13日	からすま京都ホテル	新型コロナウイルス感染症の状況によってはメール、Zoom等で開催
支部奨励賞審査委員会	2024年11月29日	ホテルモントレ大阪	新型コロナウイルス感染症の状況によってはメール、Zoom等で開催
支部幹事会（第3回）	2024年11月29日	ホテルモントレ大阪	新型コロナウイルス感染症の状況によってはメール、Zoom等で開催
支部委員会（第2回）	2025年1月17日	からすま京都ホテル	新型コロナウイルス感染症の状況によっては開催しない
支部幹事会（第4回）	2025年3月21日	からすま京都ホテル	新型コロナウイルス感染症の状況によってはメール、Zoom等で開催